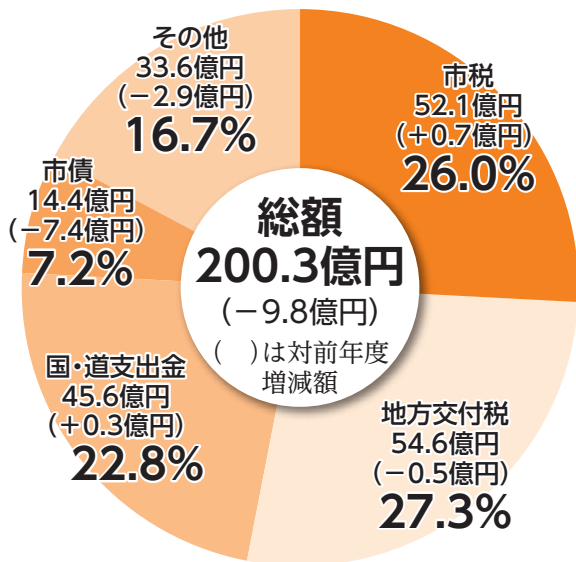


歳入 (収入)

国や道から交付される『地方交付税』と『国・道支出金』が収入の約半分を占めています。



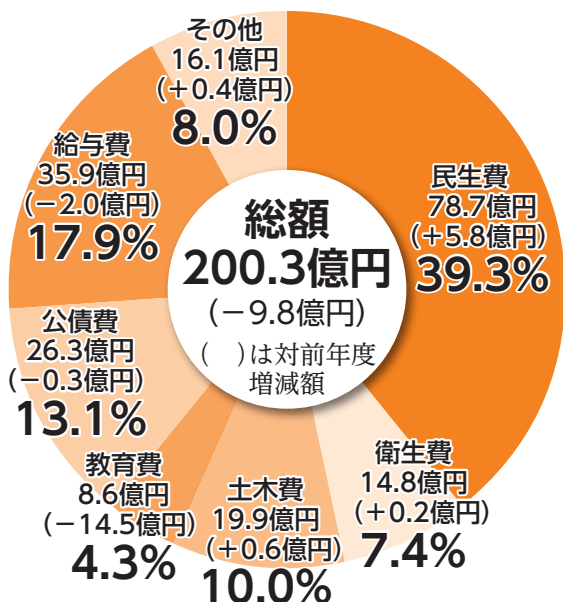
市税は、市民の皆さんからいただく安定的な収入です。財政運営上は、収入全体の中で、自主財源である市税の割合が高いことが望ましいとされていますが、登別市の市税の割合は他の自治体に比べて低く、26%となっています。

平成29年度は、市債（主に建設事業を行う際に金融機関などから借り入れる市の借金）が減少する見込みとなったほか、基金（貯金）からの繰入金が増えたことなどにより、その他の収入が増えました。

- ・市税：市民税や固定資産税などのお金
- ・地方交付税：人口や市税収入などに応じて国から交付されるお金
- ・国・道支出金：特定の事業に対し国や道から交付されるお金
- ・市債：市の借金
- ・その他の収入：公共施設の使用料やサービスの手数料、基金を取り崩したお金など

歳出 (支出)

医療や福祉に使う『民生費』が支出の約40%を占めています。また、借金を返済するための『公債費』は前年度とほぼ横ばいで約13%となっています。



教育費は、鷺別小学校校舎建替工事を終えたことにより、前年度に比べ大きく減少しています。

一方、民生費は、生活保護費や福祉関係の給付費が増加したほか、鷺別児童館建設の本体工事を行うことなどにより増加しています。

- ・民生費：医療や福祉などに使うお金
- ・衛生費：市民の健康増進やごみ処理などに使うお金
- ・土木費：道路や公園、市営住宅などの建設や維持管理に使うお金
- ・教育費：学校の運営や校舎の建設などに使うお金
- ・公債費：借金を返済するためのお金
- ・給与費：職員に給料や退職金を支払うためのお金